

東京都福祉保健局 健康安全部 環境衛生課長 池田 誠

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

社団法人東京都ペストコントロール協会並びに会員の皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

また、平素から東京都の環境衛生行政に御理解と御協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月11日、日本の観測史上では最大、世界的に見ても4番目の大きさとなるマグニチュード9.0を記録した東日本大震災が発生いたしました。大津波による甚大な人的・物的被害に加え、福島第一原子力発電所の事故による放射性物質等の影響が広範囲に及ぶなど、未曾有の大災害に見舞われた年でした。震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

震災後、被災地では気温が高くなるにつれて、ハエの大量発生が問題となりましたが、貴協会におかれましては、現地での駆除等に積極的に取り組まれたと聞いております。日頃から培ってこられた専門知識と技術力をもつての対応及び御活躍に対しまして、あらためて敬意を表するしだいです。

まもなく震災から1年が経とうとしておりますが、生活安定化の遅れ等、復興に向けた課題が山積しています。東京都は、被災地への様々な支援を引き続き行なっていくとともに、今回の教訓を踏まえて首都直下地震等の災害対策の見直しと、高度な防災都市東京の実現に向けた取組を進めております。また、放射能問題に対しては、現状を正確に把握し分かりやすい情報提供などに努めているところです。

震災等の災害と同様、感染症についても平時の備えが大切であることは言うまでもありません。東京都はこれまで、蚊が媒介する感染症の侵入に備え、ウエストナイル熱等の感染症媒介蚊サーベイランス事業の充実など、感染症媒介蚊の防除体制の整備強化に努めてまいりました。昨年2月には、「感染症を媒介する蚊の対応に関する技術資料(改訂版)」を作成しました。これは、都、保健所及び市町村などが感染症発生時等にその役割に応じて適切に対応するための技術資料ですが、ウエストナイル熱以外のデング熱やマラリア等にも対応できるよう、新たな知見を加えて改訂を行ったものです。

万が一にも感染症が発生した場合、迅速かつ適切な対応を行っていくためには、貴協会の豊富な経験と組織力・技術力が不可欠となります。そのため、今後とも貴協会と連携しながら、新たな感染症や災害への備えを図っていきますよう、東京都の衛生行政に対する変わらぬ御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、新たな年が貴協会にとって実りの多い年となりますよう、また、会員の皆さまの御健康と御活躍を祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。